

(様式1)

学校名	福島県立福島高等学校	校長	竹田 真二
住所	福島県福島市森合町5-7-2		
TEL	024-535-2391	ホームページアドレス	https://fukushima-h.fcs.ed.jp/

福高の挑戦 ～主体的・対話的で深い学びの実現へ～

● 取組みの概要

平成19年度より、文部科学省スーパーサイエンスハイスクール（SSH）に指定され、12年目となりました。この間、全国200校余の先進的なカリキュラムを持つSSH指定校との交流を通じて、本校の教育内容は発展しています。昨年度から、本校では生徒全員が課題研究を行い、その過程の中に2年次の研修旅行(修学旅行)を位置づけたのが大きな特徴です。

● 内容

課題研究は、生徒320名が研究テーマ毎に班編成を行い、2年次になると一斉に研究活動を進めます。

1年次では、ICT活用など思考のための技術を習得し、①研究テーマの検討(課題発見)→②研究テーマの設定→③情報収集、整理・分析→④まとめ・表現→⑤振り返り・思考の深化→⑥論文作成という過程を通じて「学ぶ」意義を知り、生徒自身の将来への学習に繋げていきます。

今年度の1年生は、①研究テーマの課題を発見するために、福島大学との連携による16名の大学教授を招聘した講義や、課題発見のためのテーマ別研修としてバス8コースのフィールドワーク、講演会等を行いました。

2年生は、4月より61班の研究班に分かれた課題研究が本格的にスタートしました。③情報収集や整理・分析を班のメンバーで議論しながら進め、7月には中間発表を行いました。さらに、社会と繋がることで研究内容をより深めるために、11月の研修旅行では、京都の宿舎を中心に京都、大阪、兵庫、名古屋、岡山、広島など、各班がそれぞれ大学や研究所、企業等を訪問し、自分たちの研究内容について学んできました。その事前学習では、自分たちで研究テーマに沿った訪問先を探し電話やメールでの訪問交渉をしました。そして、④研究内容のまとめ・表現を行い、3月のSSH生徒研究発表会で全班が発表することになります。その後、⑥論文作成に取り組みながら⑤振り返り、思考を深化させていきます。

● 研修旅行の感想

「目的を持って取り組む課題研究は、結構楽しかった。聞きたいお話が聞けたり、成果が得られたりして嬉しかった。」

「職員の方々は、本当に忙しいところ私たちの研修に付き合ってくださいました。嫌な顔ひとつせず、一生懸命、私たちの研究に何かいかせるようにとお話をしてくださいました。

そのお気持ちが非常にありがたく、私達も頑張ろうと思いました。」



県内でのフィールドワーク



課題研究中間発表会



研修旅行での大学研修



研修旅行でのディスカッション

作成

西暦2019年1月